

## 阿蘇カルデラ ~ その形成に伴う巨大噴火の影響および人々の暮らしとの関わり ~ Aso Caldera- Influence of huge eruptions and relation with living of people

池辺 伸一郎<sup>1\*</sup>, 森 由佳<sup>1</sup>, 石松 昭信<sup>1</sup>, 徳永 美紀<sup>1</sup>, 片山 彰<sup>1</sup>

shinichiro ikebe<sup>1\*</sup>, MORI, Yuka<sup>1</sup>, ISHIMATSU, Akinobu<sup>1</sup>, TOKUNAGA, Miki<sup>1</sup>, KATAYAMA, Akira<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 阿蘇ジオパーク推進協議会

<sup>1</sup> Aso Geopark Promotion Council

阿蘇火山はおおよそ27万年前に誕生し、以後巨大噴火を4回繰り返してきた。現在我々が見ることのできる大規模カルデラは、おおよそ9万年前の巨大噴火によって形成された。

阿蘇地域はこのカルデラ地形を中心とし、中岳の火山活動、火山と共存する人々の暮らしなどを主テーマとするジオパークである。

なかでもカルデラは、世界的に見ても有数の規模を誇り、カルデラ形成に伴う巨大噴火は日本列島のみならず地球全体に大きな環境変化をもたらし、当時の動植物にも大きな影響を与えたことが想像される。

おおよそ9万年前という時代は、世界的には旧石器時代であり、日本に於いては4万年前以降の人類の存在はほぼ確認されているが、それ以前は不明確である。そのため、阿蘇4噴火が当時の日本に暮らす人間に影響を与えたかどうかについては定かではない。しかしながら噴火の影響は、約74000年前のトバ噴火、西暦536年のクラカタウ噴火、1815年のタンボラ噴火(いずれもインドネシア)などの例を見ると、地球規模での気温の低下はもとより、日光が遮断されることによる動植物への影響など、様々な事柄が考えられる。

一方、世界的に大きな影響を及ぼした阿蘇4噴火によって形成されたカルデラ及びその周辺にはおおよそ7万人の人々が暮らしている。そこに暮らす人々にとって、カルデラはどのように関わっているのか。独特の陥没地形からくる風のながれ、そのことが多量の降水量を生み出すことにも繋がり、豊富な湧水の元ともなる。その反面、カルデラ壁の急斜面崩壊、カルデラ底の平坦地での川の氾濫などの自然災害にも関連する。

このように、阿蘇ジオパークに於いては阿蘇カルデラの形成に伴う地球規模の顕著な影響が考えられ、それとともにカルデラの存在は、現代の人々にも無意識のうちに強い関わりをもたらしている。このことは阿蘇ジオパークとしての大きな特徴のひとつであり、強くアピールして行くべきものと考えている。同時に我々は、今後いつかは地球上のどこかで起こるであろう巨大噴火に対して、啓発をおこなう中心的役割を担う必要もあると考えている。

キーワード: ジオパーク, 阿蘇, カルデラ

Keywords: Geopark, Aso, Caldera